

BULK CHEMICALS

株式会社 バルクケミカルズ・ジャパン

2011 年 8 月 2 日作成 整理番号 001

製品データ情報

バルククリーナー BK839MT

(スプレー／浸漬用)

A. 特 長

バルククリーナーBK839MT は、洗浄性がよい液体タイプのアルカリ性クリーナーです。鋼材、亜鉛、アルミの表面洗浄に適し、また発泡性を低減した製品ですので、スプレーラインにも適用可能です。

B. 使用方法概要

1. 薬品濃度

処理液 100 ㍺につき、BK839MT を 2.0 ～ 8.0 ㍺加えます。

処理槽に 8 分程度希釈水を入れてから BK839MT を加えて攪拌し、最後に希釈水を標準液面まで補充して処理液を完成させます。

2. コントロールポイント

バルククリーナー滴定： 4.6 ～ 18.4 ml

温度： 37 ～ 82 °C

スプレー時間： 30 秒 ～ 1 分

浸漬時間： 2 ～ 5 分

ノズル圧： 0.10 ～ 0.13 MPa

注) 滴定の詳細については C 項を参照。運用上の注意点については D 項を参照。

C. 処理液管理

バルククリーナー839MT 処理液は、当社の滴定セット 839MT 用または同等品を用いて、工場内にて滴定を行うことにより管理してください。

バルククリーナー滴定方法

- 1) ピペットで処理浴サンプル 10ml を三角フラスコに採ります。
- 2) 100ml の蒸留水を加え、指示薬「フェノールフタレイン」を 4～6 滴加えて攪拌します。
- 3) 試薬「0.1N 塩酸」をビューレットに注ぎます。
- 4) フラスコを緩やかにかき混ぜながら、ピンク色が消えるまで試薬をゆっくり加えます。
- 5) この時の試薬の使用量 (ml) を記録します。

BULK CHEMICALS

株式会社 バルクケミカルズ・ジャパン

補 充： 滴定値を 1ml 上昇させるには、処理液 100 ㍺につき BK839MT を 0.4 ㍺加えます。あらかじめ設定した濃度での脱脂性能を保つには、設定値から±0.5ml 程度の範囲内で滴定値を管理することをお勧めします。（B 項-2 を参照）

注）処理槽の一部を廃棄または漏洩した場合には、初期設定と同じ割合の薬品と希釈水を加えて、元の容量へ戻してください。

D. 運用上の注意点

- ここに説明している初期の管理ポイントおよび補給用データは、ほとんどの設備に対応する標準的なものです。しかしながら、特別な条件によって処理する必要がある場合には、これとは異なる方法の適用も考えられます。その際は、当社技術スタッフにご相談ください。
- 処理材が過度に汚れており脱脂性能の強化が必要な場合は、バルクソル（クリーナー添加剤）のご使用をお勧めします。当社技術スタッフが、最適なバルクソルを選択いたします。

※ Bulk Kleen® は Bulk Chemicals Inc. の登録商標です